

今号の特集で“病院図書館員の専門性について(研修会報告)”取り上げた。

そんな折、事務局長の小田中さんから“司書資格について、世間ではこのような見方もあるようです。ご参考までに”とコメントされた1枚のFAXを頂いた。

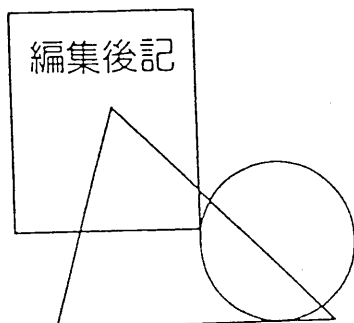
それは京都新聞〔こらむ図書館関連ラッシュ〕(1998年8月16日付)の記事。

その中に「司書は専門職種で、人気の高い資格だ。読書の仕方をアドバイスしてくれたり、図書館利用者の質問に対して、資料やコンピューターを使って調査、回答する仕事だ。毎年、資格を取得する学生、社会人は1万人近くに上るが、実際に図書館に就職できるのはそのうちの5%に満たないといわれている。それでも取得希望者が多いのは、情報・資料の調べ方や本の読み方、コンピュータの活用方法など、仕事や生活に役立つ技術が身に付くからだ。」と書かれていた。

“なるほど!そうかもしれない・・・”

私たちが毎日頑張っている姿が、アンダーラインのごとく利用者に映って見えるのだろう。

(前田元也)



---

病院図書室 第18巻 第3号

季刊

1998年8月31日 発行

定価 ￥1,500 (年間購読料 ￥6,000) 送料込

発行所 近畿病院図書室協議会

〒612-0861 京都市伏見区深草向畑町1-1 国立京都病院図書室 気付

TEL (075) 641-9161 FAX (075) 643-4325

印刷所 (株)小西印刷所 〒663-8225 西宮市今津西浜町2-60

TEL (0798) 35-1331 FAX (0798) 35-1333

---